



2018年6月15日
第630号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)
発行人 大橋 裕子
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

夏期一時金団交 堺市、大阪市、大阪府の状況は？

5月18日、堺市において夏期一時金団交が始まりました。堺市は条例変更に関わる一時金月数、支給日について堺市議会への提案の関係から、他よりも早い5月25日に支給月数2.125月(再任用1.075月)、支給日6月29日と回答しました。その他の項目については、引き続き協議としています。

【大阪府「教育庁運営方針」のある項目を削除】

大阪府は、6月8日に第一回団交が開かれました。現時点で、支給月数は条例通り、支給日は6月29日としています。これまで組合が追及してきた「教育庁運営方針」に、

「授業アンケート」による授業評価の数値結果が公表されていた件について、今年度示された「教育庁運営方針」からはその項目が消えています。その経緯についての組合への説明などが持ち帰りとなっています。

【大阪市「一日空白問題」については回答せず】

大阪市は6月11日に第一回団交が開かれました。常勤講師の夏期一時金については、昨年度同様に勤勉手当の2%減額としました。しかし、肝心の「一日空白」問題の解消については、回答を示せていません。新たに導入された

「主務教諭等」の役職別段階加算の具体的な数値なども示せず、「主務教諭等」に7.5%の役職別段階加算が適用されている規則変更部分など持ち帰りとなっています。

【改正地公法施行まで、もう時間がない!!】

それぞれ、組合が要求する非常勤への一時金支給などについて、20年施行の改正地公法、地方自治法を鑑みて回答する必要を示しています。しかしながら、文科省からの見解を待ちたい、まだ組合に示せるものは何もない、などとして組合との協議は進みません。組合は各自治体に対し、

協議の場も要求しています。大阪府との第2回団交は、6月18日(月)19時から開かれます。大阪市は、成績率の算出に時間がかかるため、まだ設定されていません。みなさん結集を!

酒井さとえ(書記長)

当画の日程

- 6月18日(月)19時~ 第三入札室 大阪府夏期一時金第2回団交
組合員は結集してください!
- 6月19日(火)17時迄
スト権批准投票締切
組合員は必ず投票を!
- 6月23日(土)18時半~
大阪市中央公会堂大ホール
差別・排外主義者を利用し労働組合潰しをおこなう 資本・権力の弾圧に抗議する6・23総決起集会
- 7月9日(月)18時半~
エル・おおさか606号室
労働契約法20条緊急学習会
ハマキョウレックス事件、長澤運輸事件の~最高裁判決を踏まえて~解説:ハマキョウレックス事件弁護団

反対意見が続出し、この講演会は中止になりました。

これ概するつもりですか?

大阪府高等学校生活指導研究会(気賀聡会長)は、5月22日付で大阪府内各高校の生徒指導主事あてに、7月27日実施予定の夏季研修会の案内を送っています。研修会の中で行われる講演内容が、「防衛省・自衛隊の概要」(講師:自衛隊大阪地方協力本部募集課長一等陸佐)、「自衛隊における隊員指導の心得」(講師:同総括幹部二等陸尉)であったことから、組合は6月7日付で研究会に抗議及び公開質問状を送りました。

教育に浸透する自衛隊

近年、大阪の高校で、中原

高校の生活指導に自衛隊の隊員指導方法が有効!?

徹氏が校長をしていた和泉高校が自衛隊に体験入隊をさせたり、豊中高校・生野高校が2014年度に、天王寺高校・大手前高校が2015年度に自衛官による講演会をしているようです。2015年度には、港南・野崎・狭山・鳳高校が職業紹介の形で校内で自衛隊員の宣伝の場を与えていることもわかっています。(『教育に浸透する自衛隊』2017年 同時代社より)

自衛隊内のいじめパワハラ

一方で、自衛隊組織の問題も数多く明らかになっています。2014年、海上自衛隊で護

衛艦勤務の男性隊員が上司の1等海曹からいじめやパワハラを受け、艦内で自殺していたことが発覚しました。自衛官の自殺者数の割合の高さについては、2015年5月27日の安保法制をめぐる衆議院特別国会政府答弁で明らかになっています。他の公務員と比べても自殺率が高いことが問題とされ、特に海外派兵帰国後の自衛官の自殺率は突出しています。

生徒を戦場に送り込まないために

安保法制の制定以来、自衛官の勤務地も極めて危険な地域が含まれました。派遣され

た自衛官は命の危険があるばかりではなく、帰国後も自死やPTSDの恐怖にさらされ続けます。府立高校の生徒がこのようリスクがある職業に就くことに大きな危惧を持たざるを得ません。組合は、各高校現場の生徒指導(生活指導)担当者が、この問題について正面から受けとめ、現職の自衛官を研修の講師に呼ぶことに抗議の声をあげていただくことを大いに期待しています。 増田俊道(書記次長)

スト権批准投票は、6月19日(火)17時までには必ず投票を!!



堺市教委「敷地内喫煙」の自白強制&密告強要のトンデモ調査を強行



まさか教育委員会がこんな野蛮な調査を教育現場に下ろしてくるとは・・・。

【密告調査を実施】

堺市教委は6月1日から一週間をかけて、「学校園敷地内喫煙に関する緊急調査」（所属校園、氏名印字済み）なるものを強行してきました。

長期休暇中の者も含めた全所属教職員を対象とした「調査票による悉皆調査」である、

任意でなく必須である、虚偽の回答をした場合は責任が加重されるとの「脅し」文句を並べ立てて！

調査項目の内容は2017年度、18年度に限定した、（自分が）喫煙したことがあるか、ないか 同僚教職員の喫煙を見たことがあるか、ないか

「見た」のは、いつ、どこで（学校園名）、誰が（教職員名）の3項目です。個票ごとに封印して管理職の目にふれない形で市教委に直接持ち込むよう指示したことで、個々の教職員に「配慮」したつもりかもしれませんが、自白を強制し、同僚をチクるように強要した時点で完全アウトでしょう！現場では、「今どき、こんなことをするか？」「トンデモないわ」「生徒にこれやったら大問題やで」と非難轟々。当然の反応です。

【何も答えられない市教委】

堺支部への「情報提供」は調査開始の前日の午後4時過ぎでした。支部は翌月曜日の昼前には抗議申入書を行い、緊急に交渉を行いました。し

かし、「『通報』があり、調査しなければいけない状況に至った」「噂レベルを超えた信憑性のある通報だった」とは言うものの、いつ、どのような立場の人から通報があったのか、通報された学校だけを対象に調査すればいいのに、なぜ、全市にわたって調査するのか等、どの質問に対しても答え（られ）ませんでした。「議員が関係している訳ではない」「教育長・次長など上部から指示や強い圧力がかったわけでもない」と言うのですが、では、いったい、誰が（何が）堺市教委をそこまで追い詰めたのかが一向に見えて来ないので。恐ろしいほどに不気味です。

組合が「無記入で提出したり、そもそも提出しなかつた

らどうなるのか？処分するのか？」と問うと、市教委は「（どうするかまでは）考えていない」「とにかく出していただきたい。これは『お願いです』』と言うのです。見切り発車で調査に踏み切ったことが露わになる発言でした。

【監禁状態で調査に回答】

しかし現場では、全教職員が集められ、「全員が出すまで解散はない」と強圧的に調査票を回収した校長もいます。黙秘権の否定、監禁・・・言語道断の所業ですが、トンデモ校長を暴走させた責任は市教委にあります。

この調査強行によって、市教委と教職員の信頼関係は完全に崩れたことは間違いありません。 平野広朗（堺支部）

違法でもおかまいなし！ 独自の理屈で押し通す天王寺学館高校

5月31日（木）、天王寺学館高校 と2回目の団交を開催しました。

【無期雇用転換申入の受理書をどうしても渡したくない法人】

冒頭、前回の団交で要求した、非常勤講師の無期雇用転換申入について確認しました。4月2日に非常勤講師4名が無期雇用転換の申入を行いました。法人は「すぐに受理書を渡す」と言いながら、未だに組合員に渡していません。理由を尋ねると、「受理はしていますので」を繰り返すばかり。組合は再度、至急受理書を渡すように強く要望しましたが、団交の数日後には、「今週は持って行けませんでした」「（申入は）既に受け付けているから」と組合員にメールを送ってきたのです。何とかして受理書を渡さないよう引き延ばしをしています。受理書がないのを良いことに、後から「あなたたちの申入なんて受理していませんよ」と

言ってくるのが目に見えています。組合は妥協することなく、引き続き受理書を渡すよう、法人に迫り続けます。

【堂々と宣言！残業代は1分単位では払いません！】

また、現在15分単位で支払われている残業代を1分単位で支払うことも要求しました。この要求に対し、法人部総務課課長代理が「法律に違反していることは認める。今後改める」と回答。しかしその発言の直後校長が、「改めるつもりはない」と法人の回答を撤回したのです。「1分単位では残業代を支払わないと言うことか」と再確認すると、「1分単位で支払わないと言っているのではない。15分単位で支払うと言っているのだ」と繰り返しました。学校法人の校長が、法律違反を堂々宣言！組合員は俄然闘志に火が付きまして！要求実現に向け追及の手を緩めません！

大椿裕子（執行委員長）

文化おちこち

(201)

アジア・ヨーロッパで考えたこと

【その1】

今年4月、スリランカのコロポで、債務問題のセミナーに参加した。ここで一番大きな関心が寄せられたのは、マイクロクレジット問題だった。

創始者のムハマド・ヤヌスがノーベル平和賞を受賞したことで知られるマイクロクレジットは、1970年代後半にバングラデシュで始まった。農村女性のエンパワーメントを目的にして、低利で少額の資金を貸与するシステムは、当初は少なからぬ効果を上げたようだ。

しかし世紀の変わり目の前後から、変化が生じてきたと言われている。つまり、マイクロクレジットの「サラ金」化であり、銀行やファンドが一斉に入り込んでき

ただ。

スリランカの人々は、マイクロクレジットが農村での起業という本来の目的から離れて、生活費不足を補うものとして借入れられ、農村女性を多重債務に追い込み、返済のために別のところから借りるという自転車操業を強いており、その結果、家庭破壊や自殺などの被害が深刻化していると証言していた。悪質な会社に対しては、女性自身による不払い運動も起きているという。日本でも、「奨学金」と称する学生ローン返済が若者を追いつめているが、不払い運動も一つの闘い方かもしれない。

（高校支部・寺本勉）



史上初の米朝首脳会談が開かれた 取り残された日本政府 慌てて日朝首脳会談実現に向け動き出した 2時間半で

会いに行けるのに対話を拒否して今の今まで何もせず 「北朝鮮と直接向き合い（拉致問題を）解決していかなければならない」とやっぱり今更発言の安倍首相